

社会福祉法人

令和7年9月号

葦の家福祉会だより



新・えーる油山始動！



おかげさまで7月に移転開所しました

「えーる油山」は、7月1日に同じ城南区の東油山から樋井川へ移転、新しい事業所として開所しました！ 障がいのある仲間たちと一緒に、フェルト作りや農作業、公園での清掃などにこれからも取り組んでいきます。そして、地域の

皆様と楽しく交流していけたらと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

また、9年間お世話になりました東油山の皆様、ありがとうございました。いただいたご縁に感謝し、今後ともよろしくお願いいたします。

新えーる油山はコレだ！



ロゴマークがあるお客様用玄関は ゆるやかなスロープが続きます



夜間は 21 時までライトアップ 太陽光発電の電気を一部使いながら地域の防災に役買っています



仲間用玄関は 大きく広く開放感たっぷり 向こうに中庭が見えます



中庭を有効活用！ 七夕の笹もここに飾りました

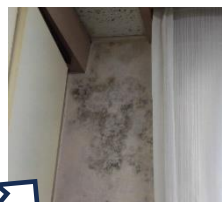


ちょっと一休憩

そもそも移転が必要だったの？

既存施設の老朽化に伴う支援環境の悪化

老朽化が進み、漏水やカビが発生していました。部分補修で対応してきましたが限界で、費用・職員負担も増大。利用者の健康被害や事故のリスクが高まっていて、抜本的対策が必要でした。



天井や壁面に ↑
発生していたカビ



↑ 車いすで離合ができない狭い廊下



← 手狭な作業室

支援環境改善の必要性

重度・最重度の障がいがある方の通所ニーズに応えるため、令和5年度に生活介護単独事業所に移行しました。しかし、建物自体は手狭で個別対応や安心できるスペースが足りず、通路や階段も狭く、事故リスクが高い状況でした。

移転・新築（創設）の必要性

先述の通り支援環境の悪化や改善の必要性が生じていたため、公的補助を活用した移転計画を立てることとなりました。

居心地の良い環境づくり

新施設では、中～小ユニットのアトリエや個室を備え、行動障がいや感覚過敏のある方にも安心できる環境を整えました。中庭の緑を望む明るい空間で、お互いの気配を感じながら心地よい距離感を保ち、集中して作業や余暇活動に取り組めるつくりとなっています。



集中できる環境

地域と共に創りたい

地域とともに歩む施設づくり

障がいのある方の地域生活には、地域との交流や社会参加が不可欠です。新施設では広い敷地を活かし、マルシェやイベント開催、施設開放などを通じて地域の方々との交流を深めていきたいと考えています。

新施設における災害対策機能

- (1) 大規模災害時には、地域と連携し、支援活動の拠点として施設を開放
- (2) 敷地内にある井戸を活用し、福祉避難所（葦の家・りーど）や地域住民へ水の供給
- (3) 太陽光パネルと蓄電池を設置し、大規模災害時初期に必要な非常用電源を確保

これからもよろしくお願いします！



明るい陽光が注ぐ、広々とした室内



充分な個人のスペース

令和6年度葦の家福祉事業報告と今後の方向性

事業総括

ここ数年の課題であった「えーる油山」の移転は、一昨年度に申請した施設整備補助金の承認を受け、その後の入札を経て本格的な建設作業に着手しました。機材調達の問題などで工事は遅れましたが、国・福岡市からの繰越承認を得て、数か月の遅延を経てようやく開所の目途が立ちました（今年7月に開所）。他施設でも「葦の家」「りーど」において補助金を活用した設備改修を実施し、法人全体ではUTM（ネットセキュリティ対策）やNAS（共有ファイルシステム）を中心としたネットワークシステムの再整備を行いました。また、勤怠管理と給与計算を連動させるシステム導入に向け、これまで正規・非正規で異なっていた給与支給システムを統合するための準備を進めています（令和7年度中に統合予定）。

事業運営面では、特別支援学校の放課後等支援の運営が難しく、屋形原特別支援学校については次年度以降の運営事業所公募に応募しないこととしました（若久は継続）。

また、「安定した法人運営継続のための仕組みづくり」「えーる油山移転および跡地の有効活用」「生活支援事業の安定化」の3カテゴリーに分け、法人を取り巻く現状を整理し、経営面・運営面の課題について各チームで検討を進めました。年度後半にはプロボノ活動による無料コンサルティングを受け、その成果を今後の法人運営に活かす予定です。

法人内で課題や目標を共有し、それぞれが役割を担いながら課題解決に向けた法人運営・事業運営を推進できる組織づくりを目指します。

令和6年度決算報告

社会福祉法人 葦の家福祉会

資金収支計算書			
令和6年4月1日～令和7年3月31日		(単位:千円)	
収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業活動収入	539,659	事業活動支出	467,136
施設整備等収入	135,140	施設整備等支出	113,282
その他の活動収入	1,255	その他の活動支出	0
		当期資金収支差額	95,636
合 計	676,054	合 計	676,054

事業活動計算書			
令和6年4月1日～令和7年3月31日		(単位:千円)	
収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
サービス活動収益	535,359	サービス活動費用	475,182
サービス活動外収益	4,300	サービス活動外費用	4,070
特 別 収 益	135,140	特 別 費 用	135,937
		当期活動増減差額	59,610
合 計	674,799	合 計	674,799

貸借対照表			
令和7年3月31日現在		(単位:千円)	
資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	496,273	流 動 負 債	43,349
固 定 資 産	540,694	固 定 負 債	36,111
		純 資 産	957,507
資産の部合計	1,036,967	負債及び 純資産の部合計	1,036,967

令和6年度の法人決算書をご報告いたします。

なお、決算内容につきましては、施設にて閲覧することができます。





博多どんたくふれあい祭り in ならや



今年も地域の方に声を掛けていただき、5/3（祝）に「博多どんたくふれあい祭り in ならや」に参加することができました。

当日は、お祭りらしい良い天気にも恵まれました。ステージでは他の出演者の方々にも盛り上げていただき、わははサンバと一緒に楽しむことができました🎵

バザーは海外の方にも好評で、沢山の方にご購入いただきました🙏 射的やガリガリ君の早食い競争にも参加し、仲間たちにとってもとても楽しい1日となりました😊



油山クリーン作戦に参加しました！



6/8（日）に油山クリーン作戦に参加しました♪ 堤公民館からごみを拾いながら油山市民の森まで登って行く地域清掃活動で、今年で 41 回目になるそうです。

天候が危ぶまれましたが、帰り着くまで降りだすこともなく、葦の家から仲間 2 家族、職員 1 家族、計 8 名で参加しました。曇り空だったので、昨年よりも歩きやすかったです。市民の森に着いたら、自治協議会の皆さん手作りのかしわご飯を美味しくいただきました(^^)

集合場所でも、ゴミ拾いの道中でも、「葦の家さん…」と声をかけていただき、日頃のお付き合いとこれまでの積み重ねの大切さを改めて感じました！ 来年も楽しみです o(>_<)o



わはは祭り 2025 開催します！



昨年度より再開した「わはは祭り」が今年度は例年より約 1 か月遅い 11/9（日）の開催となります！ サブテーマは「笑顔ふえ〜るギュッとあつま〜る」です。えーる油山が引っ越してきて法人内の事業所（市委託事業を除く）が、城南区樋井川にギュッとあつまってきました。これから葦の家やりーど、すまいるホームとも力を合わせて、地域の中でいろんな活動を行っていきます。仲間たちの笑顔はもちろん、地域みなさんの笑顔も「ふえ〜る」ような楽しいお祭りにしたいと思います。ぜひご来場ください！



法人内各事業所からのご報告



葦の家（生活介護）

～かがやき班で班外出に行きました！～



7/16（水）にかがやき班の仲間と職員で「ボートレース福岡」に行きました。現地に行く前に福岡空港沿いの道路を車で走り、空港内の飛行機を見て楽しみました。現地到着後、館内のフードコートに立ち寄り、「焼きそば」や「チャーハン」、「スパゲティミートソース」など各自で選んだメニューを注文して食べました。また「カルボナーラ」と職員に伝えて注文する仲間もいて、みんな美味しそうに食べていました。食後に2階のボートレース観覧席に移動して、ガラス張りの向こう側で行われているレースを見ました。すごい勢いで走っているボートを目で追い、レースに集中している様子が見られました。また、屋外のボートを間近で見られる場所でもレースを観賞し、臨場感あふれるボートの動きに釘付けになっていました。仲間それぞれでレースに興味を持つ瞬間があったようです。最後に、売店で買ったデザートのアイスを屋外のベンチでみんなで食べ、充実した1日となりました！！

（支援員：米澤）



えーる油山（生活介護）

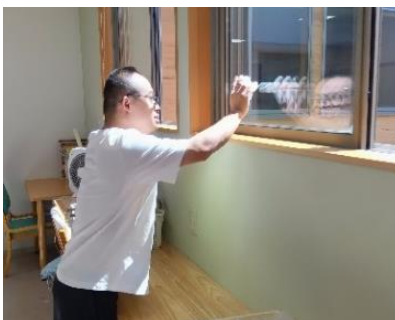
おそうじ始めました！

大きくきれいになった新しい「えーる」。せっかくの新しい空間をいつまでも気持ちよく使いたい——そんな思いから、日課のなかに「そうじの時間」を取り入れました。

「かえりの会」の前に、みんなで協力して取り組みます。モップを使って床をすみずみまできれいにする人、雑巾でテーブルを拭く人、職員と一緒にゴミ箱を集める人、それぞれが役割を持ち、できることを一生懸命がんばっています。活動の最後に、自分たちで整えたピカピカの空間を見ると、ちょっと誇らしい気持ちになります。

これからも、みんなで力を合わせて、きれいで心地よい「えーる」を維持できるようにがんばっていきます。

（支援員：山内 恵）



若久特別支援学校放課後等支援事業

たんぽぽルームのサマータイム！ 新一年生もすっかり仲間入り！



夏休みに入り、たんぽぽルームでは朝から夕方まで、子どもたちの元気な声が響き、にぎやかな雰囲気になっています。活動の中でも水あそびは大人気！ 水しぶきをあげてはしゃぐ子、ゆったりと水の感触を楽しむ子など、それぞれのペースで思い思いに楽しむ姿が見られました。

今年度、新たにたんぽぽルームの仲間になった小学部 1 年生は 6 名。4 月当初と比べると、ルームでの活動にもすっかり慣れ、

安心した表情で過ごす時間が増えてきました。支援学校の敷地内という安心感のなか、自分のペースで関わりを広げていく子どもたち。その一步一步をスタッフも見守りながら、季節の移ろいとともに感じています。

(主任：臼井)



ヘルパーステーションほっとほっと・ショートステイ

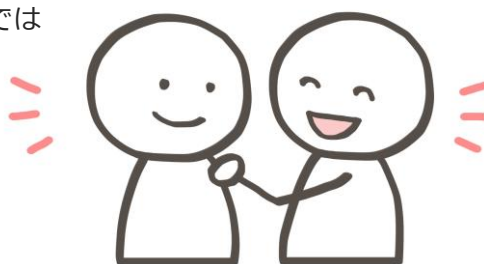
短期入所・日中一時事業所での支援の工夫について考える

短期入所「葦の家」りーどでは、昨年度からのテーマ「環境設定とコミュニケーションの工夫」を基に実践研究を続けています。日々通う通所施設とは異なり利用頻度が少なく、また不定期利用であるため、実態をつかむことが難しく、今年度は通所施設の職員さん等からの聞き取りを行いました。その結果、少しずつですが、今まで知らなかった情報を改めて知ることができ、職員間で共有し支援の工夫について話し合えるようになりました。

また、職員がシフトで入れ替わり出入りするため、なかなか研修を実施することが難しく、時間的な制約もあります。そこで、絵や大きな字を用いた見やすい資料を回覧したり、支援中に気づいた事を日誌にメモしておいて職員間で共有したりするなどして、日々の支援について検討しています。

「環境」といえば、物理的環境をどう工夫するかが大切ですが、支援現場に入って感じるのは、最大の環境となるのは人的環境であるということです。現場では時に不思議なことが起こります。ある人が近くにいるとなぜか利用者が不調になり、反対にある人が同じ空間にいるだけでなぜか落ち着いて過ごせる。そのことから人的環境とは「精神的環境」だと考えます。どんなに楽しめる趣味や余暇の過ごし方があっても危機感を持つ場所では誰も楽しむことはできません。だからこそ我々支援者にとって何より大切なことは利用者に安心安全な「精神的環境」だと如何にして感じてもらえるかであるのだろうと考えています。

(支援員：西郷)



相談支援（基幹相談支援センター・相談支援センターあしっぷ）

障がい児を取り巻く環境や支援で大切なこと

先日「児童期の障がい児支援の流れを知り、つながりある支援を行うために」をテーマに、城南区内の障がい福祉のネットワーク会議（城南サポネット）を開催しました。こども家庭支援センター、療育センター、特別支援学校から、それぞれの立場での支援の実際について講義をいただきました。障がい児に関わるサービス事業所、学校のソーシャルワーカー、行政機関等、多くの方に参加いただきました。

講師からは、「どんなときも見捨てない」という姿勢が子どもが安心して育つために大切であり、それがアタッチメント（愛着）の本質であるというお話や、小学校の入学に伴い環境や関わる大人が変化しても、子どもたちが安心して過ごすための支えが必要だというお話をいただきました。参加者からは「子どもと触れ合い、信頼関係を築くことが支援の基本であると学んだ」「支援者の連携により支援の質も向上し、それが子どもの育ちにつながると理解した」という意見をいただきました。



子どもや家族にとっては、切れ目のない支援が安心と信頼につながります。支援機関同士の情報共有や連携をより深めていけるよう、今回のような場を通して、お互いの立場を理解し合いながら支援を行っていきます。

（相談支援専門員：白石）

グループホーム（すてっぷ・すまいるホーム）

「人生の最期にどうありたいか ～もしバナゲームを通して考えました～」

6月に家族懇談会を実施し、その中で「もしバナゲーム」を実施しました。「もしバナゲーム」とは、人生の最期にどうありたいかという価値観について、もしもの時に備えて話し合うゲームです。大切だと分かっているけど、縁起が悪いと避けられがちなテーマですが、ゲーム形式にすることで気軽に自分の大切にしていることに気づき、周囲と共有するきっかけになります。

今回は、36枚のカードの中から特に大切にしたい価値観を10枚選び、その理由をグループごとに話し合いました。保護者の皆さんが選ばれたカードや理由はそれぞれ違うところが多くあり、今まであまり知らなかった価値観を伺うことができました。話し合いの中で、仲間たちは何を選ぶだろうということも考えましたが、自分の口から考えを伝えることが難しい仲間たちも多く、保護者の方から「わからない」という声も聞かれました。

今回のゲームを通じて、大切にしたい価値観は時とともに変化するため、「もしも」に備えて自分の考えを周囲と共有しておくことの重要性を改めて感じました。また、支援者としても、高齢化が進む仲間たちの価値観を、成育歴や日常生活から検討する機会を設ける必要があると実感しました。

（支援員：内野）



令和7年度選任 新評議員・新役員のご紹介

任期満了に伴う評議員・役員（理事・監事）の改選が6月に行われました。新しい評議員・役員は以下の通りです。

任期：評議員 令和11年に開催される定時評議員会終結時まで

役員 令和9年に開催される定時評議員会終結時まで

○評議員 9名

- ・石松周（団体役員）
- ・大神道子（民生委員・児童委員）
- ・大川絹代（障がい者施設 事務局長）
- ・高田英雄（民生委員・児童委員）
- ・津江みどり（認可保育園 園長）
- ・疋田初美（保護司）
- ・眞崎弘太（医療関係者）
- ・山崎貴子（司法書士）
- ・吉田修一（障がい者施設 管理者）



○理事 8名

- ・安宅正美（障がい福祉事業所管理者）
- ・池上洋一（福岡市任用職員、親の会活動）
- ・入川文（医療福祉系コンサルティング）
- ・岡村亜紀（葦の家管理者）
- ・末次恵一（葦の家福祉社会事務局長） ※理事長
- ・藤環（法人本部長、グループホーム等管理者）
- ・吉浦隆紀（地域づくり活動家）
- ・吉原育子（弁護士）

○監事 2名

- ・馬見昭次（法人経営：障がい者施設 管理者）
- ・近藤伸二（財務管理：認可保育園 副園長）

地域連携推進会議を開催しました

グループホーム運営の透明性を確保することを目的とし、今年度から義務化された「地域連携推進会議」を7/31（木）にすまいるホームで開催しました。推進員として参画していただいた地域や関係者の方々からの意見を今後のホーム運営の参考にしていきたいと思っております。

葦の家 全館空調更新工事 指名競争入札結果

- ◆入札日 令和7年7月28日
- ◆落札価格 7,810,000円
- ◆落札業者 日立空調ソリューションズ株式会社
- ◆入札業者 2社



社会福祉法人 葦の家福祉会だより

令和7年9月号

発行日 令和7年9月1日

編集・発行 社会福祉法人 葦の家福祉会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川4丁目1-17

〈代表〉Tel 092-873-7481 Fax 092-834-3362

E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp

URL <https://ashi.sakura.ne.jp>



法人ホームページ